

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:サーフェーサーEPO

種類:水性1液エポキシ系微弾性サーフェーサー

製造会社

会社名:AGCコーテック株式会社

住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門:CSR室 江澤 孝行

電話番号:03-5217-5104

FAX番号:03-5280-0028

緊急連絡電話番号:03-5217-5104

整理番号:3020880114205

使用上の制限:推奨用途以外への使用は推奨しない。

用途:無機系下地用下塗材

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性:

健康に対する有害性:

特定標的臓器毒性(反復ばく露) :区分2

環境に対する有害性:

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:警告

危険有害性情報:

- 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き:

安全対策:

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

応急措置:

- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

廃棄:

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分:混合物

化学名または一般名: 情報なし

化学特性(化学式等): 情報なし

毒物及び劇物取締法: 該当せず

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
酸化チタン	13463-67-7	1.0~10	○		
エチレングリコール	107-21-1	<1.0	-		
鉱油	非公開	<1.0	-		
2-[3-(トリメキシリル)プロポキシ]メチルオキシラン	2530-83-8	0.2	-		

補足説明:

- 成分情報／安衛法通知物質(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)にて記載されている記号の内容は以下の通りとなります。
 - : 既存
 - R7: R7年4月1日以降(施行予定)
 - R8: R8年4月1日以降(施行予定)
- 成分の含有量について企業秘密であるものは範囲で記載。
-

4. 応急措置

吸入した場合:

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合:

- ・ 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
- ・ 溶剤、シンナーを使用してはならない。
- ・ 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合:

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
- ・ 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

- ・ 嘔吐物を飲み込ませてはならない。
- ・ 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
- ・ 負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護:

- ・ 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
 - ・ 適切な換気を確保する。
-

5. 火災時の措置

適切な消火剤

- ・ 周辺設備に適した消火剤を使用する。
- ・ この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤: データなし

特有の消火方法

- ・ 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
-

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項:

- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法/機材:

- ・ 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
 - ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:

(取扱者のばく露防止)

- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項:

- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

接触回避データなし

保管:

安全な保管条件:

- ・換気の良い場所で保管すること。
- ・容器を密閉しておくこと。

(避けるべき保管条件)

- ・日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度/許容濃度:

化学物質名	八時間濃度基準値 (安衛則第577条の2の2項)	短時間濃度基準値 (安衛則第577条の2の2項)	skin
エチレングリコール	10ppm	50ppm	
化学物質名	日本産業衛生学会ppm	日本産業衛生学会mg/m ³	skin
酸化チタン		1.5(吸入性粉塵) 2(総粉塵)	
化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m ³	skin
酸化チタン		2.5	
エチレングリコール	25		
化学物質名	ACGIH_STEL ppm	ACGIH_STEL mg/m ³	skin
エチレングリコール	50	10	

保護具:

呼吸用保護具:

- ・呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具:

- ・保護手袋を着用する。

眼の保護具:

- ・保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具:

- ・保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 白色
臭い	: 僅か、アクリル臭
融点/凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 7.5-9.5
動粘性率	: 情報なし
溶解性	: 情報なし
n-オクタノール/水分配係数	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 1.4-1.6
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性:

- ・ 情報なし

化学的安定性:

- ・ 安定である

危険有害反応可能性:

- ・ 情報なし

避けるべき条件:

- ・ 情報なし

混触危険物質:

- ・ 情報なし

危険有害な分解性生成成分:

- ・ 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性:

酸化チタン

LD50	(経口)	ラット	>5000 mg/kg
LD50	(経皮)	ハムスター	>10000 mg/kg
LC50	(粉塵)	ラット	>5.09 mg/L

エチレングリコール

LD50	(経口)	ラット	=6140 mg/kg
LC50	(ミスト)	ラット	=2.7 mg/L(4h)

2-[3-(トリメキシシリル)プロポキシ]メチルオキシラン

LD50	(経口)	ラット	>5345 mg/kg
LD50	(経皮)	ラビット	=4244 mg/kg
LC50	(ミスト)	ラット	>5.3 mg/L(4h)

皮膚腐食性/刺激性:

エチレングリコール	ヒト	刺激性 (SIDS, 2009)
-----------	----	------------------

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:

エチレングリコール	ラビット	軽微な結膜刺激 (CICAD 45, 2002)
2-[3-(トリメキシシリル)プロポキシ]メチルオキシラン	ラビット	角膜パンヌス、混濁が21日間持続 (2/18例)

呼吸器感受性:

情報なし

皮膚感受性:

情報なし

変異原性(生殖細胞変異原性):

情報なし

発がん性:

酸化チタン	cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.) IARC-Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない ACGIH-A3(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明 ACGIH-A4(2017) : ヒト発がん性因子として分類できない	
エチレングリコール		

生殖毒性:

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露):

エチレングリコール	区分3	(気道刺激性、麻酔作用)
2-[3-(トリメキシシリル)プロポキシ]メチルオキシラン	区分3	(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):

酸化チタン	区分1	(呼吸器)
-------	-----	-------

誤えん有害性:

情報なし

12. 環境影響情報

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生環境有害性 短期(急性):

酸化チタン	甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr
エチレングリコール	魚類 (ヒメダカ) LC50 > 100mg/L/96hr
2-[3-(トリメキシリル)プロポキシ]メチルオキシラン	魚類 (コイ) LC50=55mg/L/96hr

水生環境有害性 長期(慢性):

エチレングリコール	甲殻類 (ニセネコゼミジンコ) MATC=4.2mg/L/7days
2-[3-(トリメキシリル)プロポキシ]メチルオキシラン	甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >=100mg/L/21days

水溶解度

エチレングリコール	100g/100ml
酸化チタン(IV)	溶けない

残留性・分解性

エチレングリコール	急速分解性あり (BOD分解度=90%/14days)
2-[3-(トリメキシリル)プロポキシ]メチルオキシラン	急速分解性なし

生態蓄積性

エチレングリコール	log Pow=-1.93
-----------	---------------

土壤中の移動性データ

情報なし

オゾン層への有害性データ

情報なし

その他情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

- ・ 環境への放出をさけること。
- ・ 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない
正式輸送名：該当しない
分類または区分：該当しない
容器等級：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当)：非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

- ・ 57条の2通知対象物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律:

16. その他の情報

引用文献

- ・ Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
- ・ Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
- ・ Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
- ・ 2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

- 2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- <http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
- JIS Z 7253 : 2019
- JIS Z 7252 : 2019
- 2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- Supplier's data/information
- Hazard Communication Standard – 2012 (29 CFR 1910.1200)

その他

- このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は必ずしも十分なものではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- このSDSは、法令の改正新しい知見により予告なく改定することがあります。
- このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- 危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」を示しています。
- PRTR該当物質については1, 2種は1%以上、特定1種0.1%以上の場合に対象となります。
- PRTR2種については国(事業所管大臣)への報告は不要です。
- 2項危険有害性の要約のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当します。